

広島芸術学会

芸術展示《制作と思考》第14回

出品者(予定)

足利華嶺、阿部光昌、王安好、岡孝博、  
小田茂、久保田貴美子、河野淳、  
才田博之、千田禪、范叔如、平野邦明、  
船田奇岑、間瀬実郎、三浦実、宮武裕

才田 博之《未知への疾走》2026年

# 制作の止み



会期中無休  
入場無料

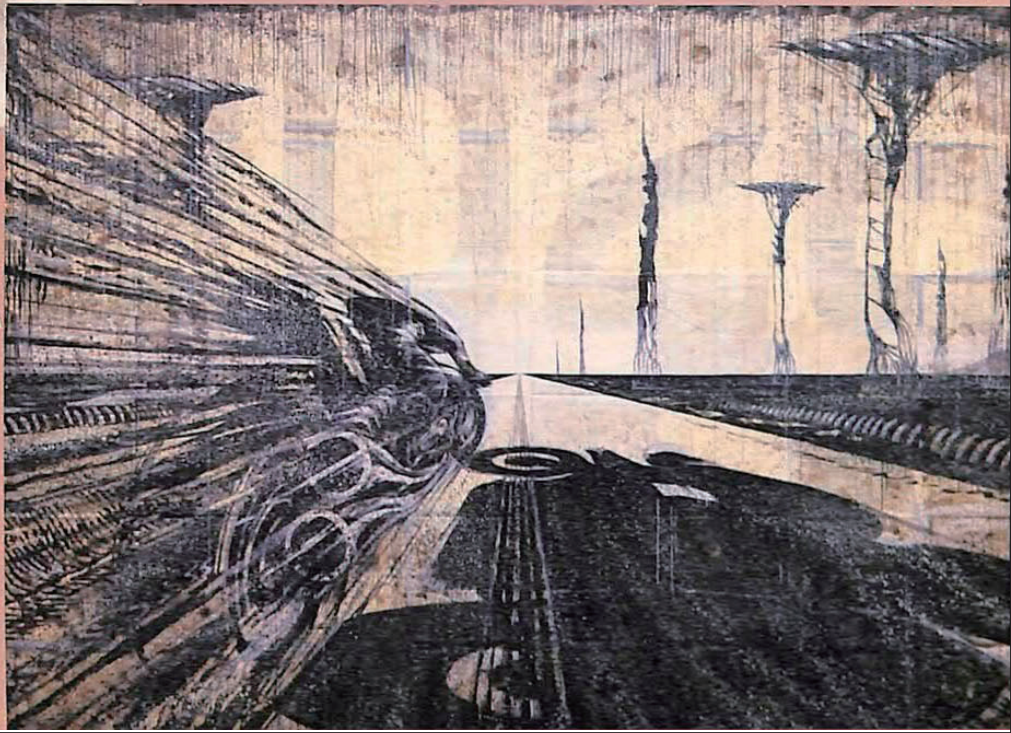
□開館時間  
9時—17時

□会場

広島県立美術館 B1F  
県民ギャラリー  
(2室、3室)

2026.4.21 tue — 26 sun

范叔如《楯》2025年



岡孝博《RABE》撮影・山本耕 2018年



主催／広島芸術学会

# 作家の止み

## 広島芸術学会 芸術展示《制作と思考》第14回

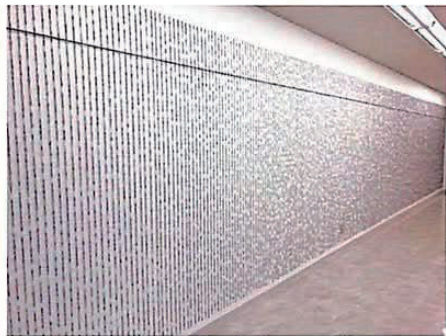
芸術展示《制作と思考》は学会創立10周年の1996年に第1回を開催して以来、ほぼ隔年で回次を重ね、本展が第14回です。この期間、さまざまな出品テーマを定めて開催してまいりました。他方では、出品テーマに捉われずに、作家が自身の作品を学会活動として発表する機会は多くなかったように思います。

このたび第14回は、2026年7月に学会創立40周年をむかえることを記念し、学会に現在所属している「作家の歩み」を紹介する機会として開催します。本展では、出品者である作家自身がさまざまな活動、出会い、出来事、きっかけを振り返って、作品を制作、選定、若しくはそれらを組み合わせることによって出品内容を構成します。本学会の会員作家はどのようなことを考え、創作の道を歩んでいるのでしょうか。この機会にぜひご覧ください。

出品者と座談会 | 2026.4.26(日) 15:30—



1



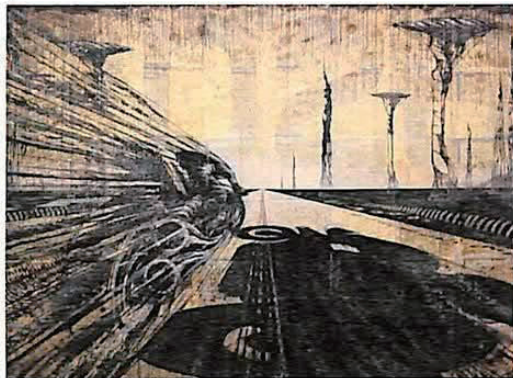
2



3



4



5



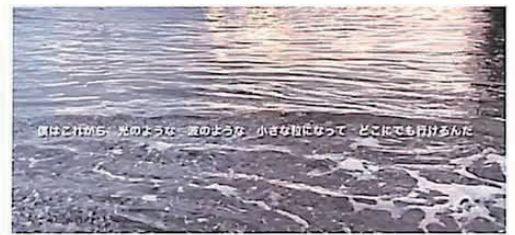
6



7



8



9



10



11

1.岡 孝博《KABE》(撮影:山本科) 2018年 2.久保田 貴美子《CLIPS》2024年 3.阿部 光昌《プールII》2025年 4.范 叔如《煙》2025年 5.才田 博之《未知への疾走》2026年 6.三浦 実一《絆》 7.小田 茂一《X氏のふるさと》2026年 8.千田 禰《落書き1》2022年 9.河野 淳《NO SOUND》2024-2025年 10.船田 奇岑《枝垂桜》1992年と《夏の海に降る雪》2021年 11.間瀬 実郎《Rail Illusion》2026年  
※掲載の作品はイメージです。実際の展示とは異なる場合がございます。

### 広島芸術学会について

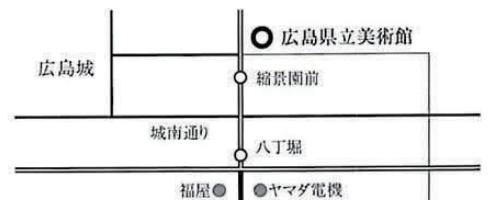
広島芸術学会は「市民に開かれた学会」をモットーとして、1987年に設立されました。学会の基本精神は次の3項に要約できます。

- 1 | 市民、作家、研究者に等しく開かれた学会であること。
- 2 | 芸術の諸ジャンル、美術、音楽、文芸、建築、デザイン、工芸、演劇等を網羅し、創作的実践と学術研究の相互啓発を目指すこと。
- 3 | 地域の閉鎖性を脱し、広く国内外のネットワークを築くこと。

設立以来、年次大会と定期例会の開催、年報「芸術研究」及び会報の発行を継続する一方、原則隔年で芸術展示も開催しています。2021年「第41回広島文化賞(団体の部)」受賞。

### □広島芸術学会事務局

〒739-8521 広島市鏡山1-7-1 広島大学 総合科学部 人間探究領域(人間文化)  
FAX | 082-424-0752 E-Mail | hirogei@hiroshima-u.ac.jp



□広島県立美術館BF県民ギャラリー(第2室、第3室)  
〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 TEL | 082-221-6246